



子供の読書活動の推進等に関する調査研究
(令和2年度 学校図書館の現状に関する調査)
調査分析報告書 (概要版)

令和4年3月

I 調査の概要

- 文部科学省では、学校図書館への司書教諭や学校司書の配置状況、図書の整備状況、学校図書館の活用及び読書活動の状況等を調査しており、**令和2年度に「学校図書館の現状に関する調査」の結果を公表**したところです。
- 本調査は、各都道府県から提出された「学校図書館の現状に関する調査」に関するデータについて、詳細な実態把握とその分析を行い、学校図書館における様々な現況・取組における相互の関係性や子供の読書活動の推進を図る上での新たな視点・指標を考察することで、令和4年度から令和8年度を対象期間とする**第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」の推進**を図るとともに、**子供の読書活動の推進に向けた一助**とするを目的とするものです。
- なお、分析の視点等については、子供の読書活動の推進についての専門的知識を有する有識者からなる調査検討委員会による指導助言に基づくものです。

II 調査分析結果

- 本報告では、「学校図書館の現状に関する調査」の調査対象校のうち、公立の小学校（18,894校）・中学校（9,143校）・高等学校（3,449校）・特別支援学校（小学部（864校）・中学部（857校）・高等部（893校））を対象とした分析を行いました。
- 分析は、まず、「学校図書館の現状に関する調査」データから67指標を抽出し、その中の18指標を分析軸とした相関性について、上記学校種別に分析を行った結果から、相関関係の強い項目等についてまとめています。

【参考：分析軸（18指標）一覧】

人的整備

- 司書教諭発令
- 学校司書配置
- 学校司書の常勤人数
- 司書教諭発令 & 学校司書配置

物的整備

- 図書更新比率
- 図書標準達成率
- 蔵書配分乖離指数
- 図書選定基準策定率
- 図書廃棄基準策定率
- 蔵書データベース化
- 校内LAN（無線）整備率
- 新聞配備率（図書館または教室）

活動の状況・活用

- 授業日数に対する終日開館率
- 授業での学校図書館活用時間
- 図書貸出把握率
- 児童生徒当たり貸出冊数（冊）
- 全国一斉読書活動実施率
- 全体計画策定率

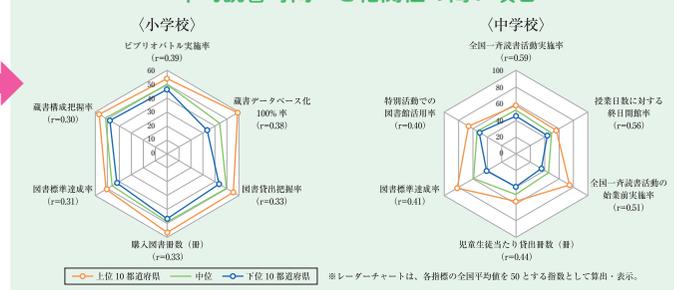
- また、上記分析軸に加え、公立の小学校及び中学校における「令和3年度全国学力・学習状況調査」結果を用いて、学校図書館関係の67指標と日常生活における読書及び新聞に関する状況との相関関係についても分析を行っています。

～子供の読書時間等に関する相関性のまとめ～

● 子供の“平均読書時間”については、小・中学校ともに“図書標準達成率”と強い相関関係が確認され、これは学校図書館における蔵書の整備・充実が子供の読書に対して大きく寄与し得るものであることを示す。この他、中学校に関しては“授業日数に対する終日開館率”や“全校一斉読書活動実施率”等についても子供の読書状況との間に強い相関性が認められる。

● “新聞を読む（月1回以上）”については、小学校・中学校ともに“授業日数に対する終日開館率”“授業日数に対する終日開館100%率”との強い相関があることに加え、“新聞配備率（図書館または教室）”“新聞配備率（教室）”についても相関関係があることから、学校図書館や教室への新聞配備を進めることは、子供が新聞と親しむ機会を増やす上で重要な取組となっていると言える。

“平均読書時間”と相関性の高い項目



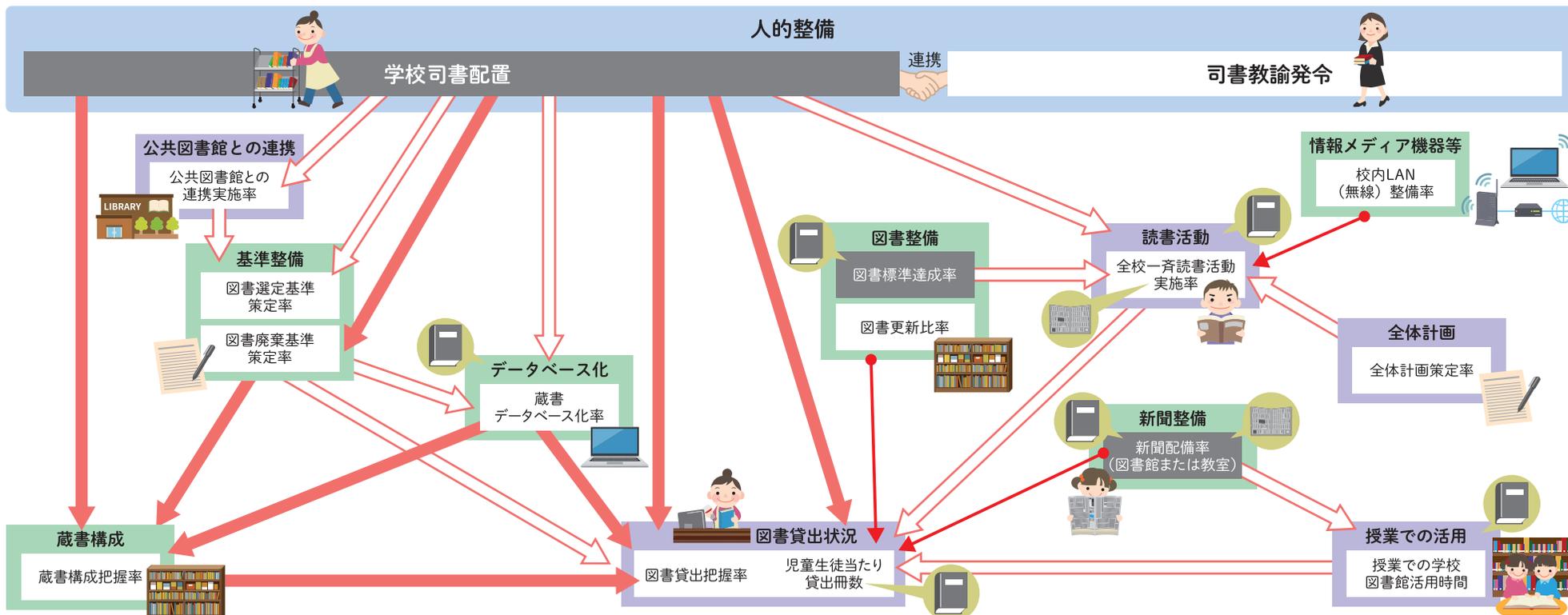
Ⅲ 学校図書館の整備に向けて

◆学校図書館整備の相関チャート

●分析で明らかになった学校種（6校種）別の指標間の相関関係（相関係数）を踏まえ、学校種に囚われない相関性の総合評価を行い、これを模式的・図的に“見える化”するため、学校図書館整備の相関チャートとして整理した結果が以下となります。

※総合評価結果の上位2段階（★★★★（かなり大きな相関性がある）、★★★（大きな相関性がある））を中心にチャート化。
総合評価の下位2段階（★★（やや大きな相関性がある）、★（相関性がある））については、★★の一部を除き基本的に捨象。

学校図書館整備の相関チャート



「令和2年度 学校図書館の現状に関する調査」結果に基づく学校図書館整備の相関性

➡ (★★★★) かなり大きな相関性がある ➡ (★★★) 大きな相関性がある ● (★★) やや大きな相関性がある

※相関を示す矢印は、学校種に囚われない総合的な相関性として評価値に基づく関係性を示す

「令和3年度 全国学力・学習状況調査」結果に基づく指標との相関性

📖 (読書時間) との相関性がある項目 📰 (新聞を読む(月1回以上)) との相関性がある項目

◆学校図書館整備の関連チャートから見えてくること

- “学校司書配置”による直接的効果として、“図書廃棄基準策定率”等の基準整備や“蔵書構成把握率”を含む蔵書構成の改善・向上など、主として関連チャートの左部に配置された様々な物的整備が促進されることが分かる。
- 加えて、“図書貸出把握率”や“児童生徒当たり貸出冊数”といった学校図書館の図書貸出状況の向上にも、“学校司書配置”が大きく寄与する。
- “学校司書配置”により直接的に促進される指標の波及効果として整備が促進される指標があることが分かる。（例：“学校司書配置”により、“公共図書館との連携”が促進され、“公共図書館との連携”により、“基準整備”が促進される。）
- “図書標準達成率”や“新聞配備率（図書館または教室）”については、その整備・向上を促す一定の直接効果・波及的效果がない（効果関係を示す矢印の終点になっていない）が、これらの両指標は「令和3年度全国学力・学習状況調査」結果による子供の読書時間等との相関性が高いことから極めて重要な指標である。
- 他の指標からの直接的効果・波及的效果があまり期待されない“図書標準達成率”や“新聞配備率（図書館または教室）”については、相関性の中でいわば独立性が高い指標とも言えるため、その指標の重要性を踏まえつつ、重点的に整備を促進する必要性が高い。

第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」における重点3項目

【学校司書配置、図書標準達成率、新聞配備率（図書館または教室）】の整備促進が殊に重要

～相関性の観点から見た上記の理由の整理～

【学校司書配置】

→学校図書館の充実に向けて、広範な整備促進効果が見込まれる。

【図書標準達成率、新聞配備率（図書館または教室）】

→学校図書館の枠組みを超えた子供の読書時間等との相関性が高い。

→“学校司書配置”からの整備促進効果が直接的には及ばないような指標の整備への促進効果が期待される。

→にも関わらず、“学校司書配置”等からの直接的な整備促進効果が学校種全体で見られるわけではなく、そういう意味での指標の独立性が高い。

◆学校図書館の整備推進指標

- 今後の学校図書館の整備を総合的かつ効果的に推進する観点から、学校図書館の様々な指標の中から、重点的な整備推進を図るべき指標として「学校図書館の整備推進指標」を抽出・設定します。
- 「学校図書館の整備推進指標」は、学校図書館の関連チャート等を踏まえ、次の13指標として提案します。
- この「学校図書館の整備推進指標」は、教育委員会や学校等に周知し、学校図書館の整備にあたって重点的に整備推進を図るべき指標として意識付けを行うことを通じて、ひいては学校図書館の総合的かつ効果的な整備推進を図ろうとするものです。

対象指標	整備推進指標	各指標の現状（全国平均）					
		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校		
					小学部	中学部	高等部
学校司書配置	学校司書配置の有無	69.1%	65.9%	66.4%	9.6%	5.6%	12.7%
図書更新比率	図書更新比率	7.0%	6.5%	4.3%	6.2%	5.5%	6.1%
図書標準達成率	図書標準達成の有無	71.2%	61.1%		15.5%	3.6%	
図書選定基準策定率	図書選定基準策定の有無	41.4%	40.3%	52.2%	20.1%	19.7%	21.3%
図書廃棄基準策定率	図書廃棄基準策定の有無	51.7%	51.6%	59.8%	29.0%	28.9%	30.2%
蔵書データベース化率	蔵書データベース化の有無	80.5%	79.3%	92.2%	56.8%	56.5%	59.1%
校内 LAN（無線）整備率	校内 LAN（無線）整備の有無	34.6%	35.0%	28.0%	38.4%	38.2%	40.1%
新聞配備率 （図書館または教室）	新聞配備（図書館または教室）の有無	56.9%	56.8%	95.1%	19.2%	18.0%	26.2%
図書貸出把握率	図書貸出把握の有無	80.9%	82.0%	94.0%	50.7%	50.5%	51.7%
児童生徒当たり貸出冊数	児童生徒当たり貸出冊数（冊）	49.0	9.5	3.3	11.8	8.9	4.8
全校一斉読書活動実施率	全校一斉読書活動実施の有無	90.5%	85.9%	39.0%	18.3%	17.2%	16.7%
授業での学校図書館 活用時間	授業での学校図書館活用時間 （学級当たりの年間授業時数）	26.0	9.8	6.6	8.5	7.4	6.6
全体計画策定率	全体計画策定の有無	88.8%	76.6%	60.4%	43.1%	42.6%	44.1%

※上記指標の掲載順は、「令和2年度 学校図書館の現状に関する調査」調査票の設問順に基づくものであり、指標の重要性等に基づくものではない。

※“授業での学校図書館活用時間”については、上記調査における学校種ごとの限られた調査対象科目のみを対象に把握された授業時数によるものである。

◆学校図書館の整備状況インデックス

- 「学校図書館の整備推進指標」13指標を用いて、学校ごとに点数付けを行い、その合計点を示したものを「整備状況インデックス」とします。
- これは、整備状況の総合的評価や学校図書館の整備に向けた具体的かつ総合的な目標の設定が難しい現状を踏まえ、学校図書館の整備状況を示す総合指標として提案・作成を行うものです。



学校図書館整備状況を「整備状況インデックス」として数値化



整備状況を数値化することにより、全国・都道府県平均の把握や、学校種別の点数分布等、多様な視点からの状況把握が可能となる

対象指標	整備推進指標	点数	
		配置している	1点
学校司書配置	学校司書配置の有無	配置している	1点
		配置していない	0点
図書更新比率	図書更新比率	全国平均より高い	1点
		全国平均より低い	0点
図書標準達成率	図書標準達成の有無	達成している	1点
		達成していない	0点
図書選定基準策定率	図書選定基準策定の有無	策定している	1点
		策定していない	0点
図書廃棄基準策定率	図書廃棄基準策定の有無	策定している	1点
		策定していない	0点
蔵書データベース化率	蔵書データベース化の有無	データベース化している	1点
		データベース化していない	0点
校内LAN（無線）整備率	校内LAN（無線）整備の有無	整備している	1点
		整備していない	0点
新聞配備率 （図書館または教室）	新聞配備（図書館または教室）の有無	配備している	1点
		配備していない	0点
図書貸出把握率	図書貸出把握の有無	把握している	1点
		把握していない	0点
児童生徒当たり貸出冊数	児童生徒当たり貸出冊数（冊）	全国平均より多い	1点
		全国平均より少ない	0点
全校一斉読書活動実施率	全校一斉読書活動実施の有無	実施している	1点
		実施していない	0点
授業での学校図書館 活用時間	授業での学校図書館活用時間 （学級当たりの年間授業時数）	全国平均より多い	1点
		全国平均より少ない	0点
全体計画策定率	全体計画策定の有無	策定している	1点
		策定していない	0点
整備状況インデックス（合計点）		13点満点	

13指標の中のいくつかの指標については、より重要視するといった視点から、配点配分にウエイト付けを行うという考え方もある。

「整備状況インデックス」の全国平均

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校		
				小学部	中学部	高等部
学校司書配置	0.7	0.7	0.7	0.1	0.1	0.1
図書更新比率	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4
図書標準達成率	0.7	0.6		0.2	0.0	
図書選定基準策定率	0.4	0.4	0.5	0.2	0.2	0.2
図書廃棄基準策定率	0.5	0.5	0.6	0.3	0.3	0.3
蔵書データベース化率	0.8	0.8	0.9	0.6	0.6	0.6
校内LAN（無線）整備率	0.3	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4
新聞配備率 （図書館または教室）	0.6	0.6	0.9	0.2	0.2	0.3
図書貸出把握率	0.8	0.8	0.9	0.5	0.5	0.5
児童生徒当たり 貸出冊数	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
全校一斉読書活動実施率	0.9	0.9	0.4	0.2	0.2	0.2
授業での学校図書館 活用時間	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2
全体計画策定率	0.9	0.8	0.6	0.4	0.4	0.4
整備状況インデックス	7.9	7.5	6.8	4.0	3.8	4.0

※ 高等学校及び特別支援学校高等部については、図書標準達成率以外の12指標での評価となるため、他の4校種が13点満点であるのに対し、12点満点となる。

※ 各指標の値について小数第1位までの表示としているため、整備推進指標の値の合計が整備状況インデックスと一致しない場合がある。

IV 本調査研究成果のまとめ

- 本調査研究により、学校図書館の多岐にわたる整備項目（指標）が互いに影響し合い、ひとつの指標を整備することで他の様々な指標の整備を促すケースなどがあることが明らかになりました。
- また、学校図書館の整備が子供の読書時間や新聞への親しみといった、子供の読書活動に貢献していることも明らかにすることができました。

【人的整備】

➔人的整備に関しては、“司書教諭発令”“学校司書配置”のいずれもが、他の多くの指標の整備を促進し得ること、とりわけ“学校司書配置”についてはその影響が大きく多岐にわたるとともに、“司書教諭発令”との両輪によりその相乗効果が期待される。

【物的整備】

➔特に“図書選定基準策定率”“図書廃棄基準策定率”“蔵書データベース化率”及び“新聞配備率（図書館または教室）”の4指標の整備が他の指標の整備を促すという視点からは効果的である。

【活用及び読書活動の状況】

➔“図書貸出把握率”“児童生徒当たり貸出冊数”及び“全体計画策定率”の3指標が学校図書館の整備推進を図る上で重要。

【その他】

➔“図書標準達成率”“児童生徒当たり貸出冊数”や“新聞配備率（図書館または教室）”といった指標が子供の読書時間や新聞を読む習慣に大きく影響している。

学校図書館の整備推進に向けた3つの提案ツール



整備推進指標

今後の学校図書館の整備を総合的かつ効果的に推進する観点から、重点的に整備推進を図るべき指標として抽出された13指標からなるツール

相関チャート

学校図書館整備の相関性を模式的・図的に“見える化”。学校図書館整備の代表的な相関性を俯瞰的に把握・理解することができるツール

整備状況インデックス

学校図書館の整備状況水準を示す総合的な指標としてのツール

学校図書館の
整備推進



令和3年度 文部科学省委託調査

子供の読書活動の推進等に関する調査研究（令和2年度 学校図書館の現状に関する調査）調査分析報告書

編集・発行 文部科学省総合教育政策局 地域学習推進課 図書館・学校図書館振興室
（委託先：株式会社ぎょうせい）

住 所 〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

電 話 03-5253-4111（代表）

発行年月 令和4年3月